

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月18日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902041		
法人名	株式会社 ケアクオリティ北海道		
事業所名	グループホーム ななかまど		
所在地	北海道旭川市緑町19丁目2656番地1 (電話) 0166-51-0717		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年11月14日	評価確定日	平成21年11月24日

【情報提供票より】(平成21年10月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年3月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	20人	常勤	17人, 非常勤 3人, 常勤換算 17.75人

(2) 建物概要

建物構造	準耐火	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000円	その他の経費(月額)	15,000~23,000円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 300円
	夕食	460円	おやつ 円
	または1日当たり 1,060円		

(4) 利用者の概要(10月16日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	3名	要介護2	7名		
要介護3	2名	要介護4	4名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 85.7歳	最低	77歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	豊岡内科整形外科クリニック にしきまち通りクリニック 真口内科小児科医院 太田歯科医院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域の「ふれあい運動」や町内会の廃品回収、清掃事業への参加、家族や地域の人達に参加を呼びかけて「ななかまど祭り」を実施するなど地元の人々との交流に努めている2ユニットのグループホームです。また、職員の段階に応じた「接遇マナー」や「みとり」等の内部研修の充実や協議会などの外部研修参加も積極的に行われケアサービスの質の向上に活かされています。ホーム内には、観葉植物が多く配置されて家庭的雰囲気を作り出したり、部屋に子猫を飼うなど一人ひとりの思いや暮らし方の希望に応じた支援やボランティア、実習生の受け入れ等ホーム機能の地域への還元にも取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議の定期的な開催が課題として挙げられていましたが、年6回を目安に定期的な開催され、町内会との協力体制の強化や市の監査結果の報告など具体的内容について話し合わせ、そこでの意見をサービスの向上に活かしています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ、新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に開催され主な議題は、 町内会との協力体制強化について AED使用の講習会実施について 緊急時の避難訓練実施について インフルエンザ予防接種について 旭川市指導監査の結果報告 など
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表すことができるように苦情受付担当者を決めていると共に全ての職員が気軽な会話ができるような雰囲気を作り上げています。また「ななかまどだより」を定期的に発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、感染症対策への協力についても報告しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の「ふれあい運動」や町内会の廃品回収、清掃事業への参加、家族や地域の人達に参加を呼びかけて「ななかまど祭り」を実施するなど地元の人々との交流に努めています。また、ボランティアや実習生の受け入れ等を通じて地域との連携にも取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、独自の理念を作りあげ職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、その実践に向けて職員間で声かけしながら取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の「ふれあい運動」や町内会の廃品回収、清掃事業への参加、家族や地域の人達に参加を呼びかけて「ななかまど祭り」を実施するなど地元の人々との交流に努めている。また、ボランティアや実習生の受け入れ等を通じて地域との連携にも取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ、新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については、運営推進会議に報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に定期的開催されている。委員は、家族、町内会役員、知見を有する有識者、法人代表者及び管理者・職員で開催され、旭川市指導監査結果の報告など具体的に話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、市との連携の重要性について理解し、市主催や包括支援センターの研修会参加や日常業務を通じて食事メニューや栄養バランスについて相談するなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に「ななかまどだより」を発行して、日常の様子や行事参加の様子など報告している。また、家族の来訪時に健康状態や要望など意見交換されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表すことができるように苦情受付担当者を決めていると共に全ての職員が気軽な会話ができるような雰囲気を作り上げている。また、利用者の日常の暮らしぶりや感染症対策への協力についても報告している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は、離職者を出さないよう努力し、代わる場合においても入居者へのダメージを極力防ぐ配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の段階に応じた「接遇マナー」や「みとり」等の内部研修の充実や協議会などの外部研修参加も積極的に行われケアサービスの質の向上に活かされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や地域の包括支援センターでの研修会、交流などを通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には本人・家族の見学や遠方や入院等で来所が困難な場合は管理者等が病院や自宅へ出向き職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、調理の下ごしらえ・食器洗いなど、一緒に過ごしながらか支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を利用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望の把握に努め、はり絵や編み物への支援、本人の誕生日に合わせ好きな物をプレゼントしたり、行事にはお酒も出され、本人の思いを尊重する支援をしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、職員や本人の希望・家族からの意見及び主治医からの助言など、それぞれの意見が反映された介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、かかりつけ医への通院や透析の送迎、買物の付き添いや家族の宿泊など柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、かかりつけ医への通院の支援、協力病院からの往診も月2回行われている。また常勤の看護師により、入居者の体調管理及び主治医との連携が適切に行われるなど、医療活用の支援が行われている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医師と連携して利用者・家族とも段階的に相談し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。また、看取りの研修会も実施されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重し、排泄時の誘導や職員同士の会話等配慮している。また、記録の扱いにも留意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、入浴や買い物、ペットの猫と一緒に居室で過ごすことや趣味などその日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備や職員と一緒に食事をとりながら和やかな雰囲気となっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、その時々で声を掛け合い、散歩や買い物、マージャン、カラオケなど気晴らしの支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、買い物や散歩、近所のガーデニングを見に行くなど、日常的な外出支援が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、施錠はしていない。また、安全面においては職員の目配り、見守りが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回避難訓練実施と利用者の安全な誘導や搬送方法、及び消火器の使用体験なども行っている。また町内会との緊急連絡網にて災害時の協力を働きかけている。</p>		<p>今後は、緊急避難後の一時避難場所の確保について検討されることを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や栄養バランス、水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについても年1回保健所の管理栄養士と看護師によるアドバイスや指導を受けながら支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、リビングには利用者が集いはり絵やトランプを楽しんでいる。観葉植物などの配置もほど良く、落ち着いた空間となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族の希望に応じ、使い慣れた家具やテレビ、仏壇が持ち込まれている。またペットを飼うことも相談に応じ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。